平成25年９月９日

各　　位

会　社　名　ペプチドリーム株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　窪田　規一
（コード番号：4587　東証マザーズ）
問い合わせ先　取締役経営管理部長　関根　喜之
電 話 番 号　（03）3485－7707（代表）

ブリストル・マイヤーズスクイブ社との技術（PDPS）ライセンス許諾契約及び創薬共同研究開発契約延長のお知らせ

当社は、平成25年９月９日開催の取締役会において、以下のとおり、米国ブリストル・マイヤーズスクイブ カンパニー（以下「ブリストル・マイヤーズスクイブ」といいます。）との間で、ペプチドリーム独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS（Peptide Discovery Platform System）をブリストル・マイヤーズスクイブに対して非独占的にライセンス許諾（技術貸与。以下「本契約」といいます。）する契約を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

１.契約の内容等

本契約は、当社独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPSをブリストル・マイヤーズスクイブに対して非独占的にライセンス許諾することにより、ブリストル・マイヤーズスクイブ内において特殊ペプチドによる創薬研究開発を実施することができるようにすることを目的としております。

本契約の締結に伴い、当社は、契約一時金のほか、年間テクノロジ・アクセス料を受領します。さらにブリストル・マイヤーズスクイブにおける創薬開発の進捗状況に合わせて目標達成報奨金（マイルストーン）や、製品化された暁には売上金額に対するロイヤルティが当社に対して支払われることになります。

また、この度の本契約締結に伴って、本来であればブリストル・マイヤーズスクイブへのPDPSの導入・稼働後には、現在進行している共同研究開発契約は終了することとなりますが、当社と現在共同研究開発を進めている既存のプロジェクトについても平成27年（2015年）10月まで２年間延長することとなりました。

以下、当社代表取締役窪田からのコメントです。

「この度、ブリストル・マイヤーズスクイブに対して当社の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS（Peptide Discovery Platform System）をライセンスすることになった背景としては、平成22年（2010年）から３年間にわたるブリストル・マイヤーズスクイブとの創薬共同研究開発の成果により、当社技術・システムの優位性が認められ、特殊ペプチドの創薬候補物質としての可能性が確認された結果だと考えています。

さらにこの度の契約では、当社との創薬共同研究開発契約も２年間延長・継続されることになりました。これにより、特殊ペプチド創薬の実現に向けたダイナミックな活動が日本と米国において進行するものと確信しています。

今後、当社としてはPDPSを特殊ペプチド創薬開発のデファクトスタンダードシステムとして世界中に展開していく予定です。」

２.契約相手先の概要

（１） 名称	Bristol-Myers Squibb Company（ブリストル・マイヤーズスクイブ カンパニー）	
（２） 所在地	345 Park Avenue, New York, NY 10154, United States	
（３） 代表者の役職・氏名	Lamberto Andreotti, Chief Executive Officer	
（４） 事業内容	医薬品	
（５） 資本金(Common Stock)	221,000千ドル	
（６） 設立年	1887年	
（７） 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	共同研究開発を行っております。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

（８） 当該会社の最近３年間の連結経営成績及び連結財務状態（単位：千ドル）

決算期	Dec 31, 2012	Dec 31, 2011	Dec 31, 2010
連結純資産(Total Stockholder Equity)	13,623,000	15,956,000	15,713,000
連結総資産（Total Assets）	35,897,000	32,970,000	31,076,000
連結売上高（Total Revenue）	17,621,000	21,244,000	19,484,000
連結営業利益(Operating Income)	2,260,000	6,647,000	5,978,000
連結当期純利益（Net Income）	1,960,000	3,709,000	3,102,000

３.日程

（１） 取締役会決議	平成25年９月９日
（２） 契約締結日（予定）	平成25年９月９日

４.今後の見通し

契約締結後、実際に PDPS を技術貸与する時期は未定です。なお、通期の業績予想につきましては、前回公表予想を据え置いておりますが、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

（参考）当期業績予想（平成 25 年８月 13 日公表分）及び前期実績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想（平成 26 年６月期）	1,385	718	714	442
前期実績（平成 25 年６月期）	678	160	174	137

以　上